



# やるきほんききさき 木佐木

神奈川県議会議員  
日本共産党

2025.10.1  
木佐木ただまさ news  
発行：党横浜北東地区委員会  
横浜市鶴見区潮田 3-147-6  
TEL：045-511-1021  
Profile  
▶1984年 山梨県出身  
▶鶴見区馬場在住  
▶神奈川大学法学部卒  
▶よこはま健康友の会会長  
▶横浜東民商顧問

## 地域不在の高校再編は許されない！

### 今回発表された4組8校の再編統合計画対象校

#### 横浜南西地域における再編・統合(予定)

再編・統合対象校：舞岡高校、金井高校  
※舞岡高校の敷地、施設を活用  
再編・統合後の高校：全日制の課程 普通科

#### 横須賀三浦・湘南地域における再編・統合(予定)

再編・統合対象校：茅ヶ崎西浜高校、寒川高校  
※茅ヶ崎西浜高校の敷地、施設を活用  
再編・統合後の高校：全日制の課程 普通科

#### 県央・相模原地域における再編・統合(予定)

再編・統合対象校：上溝南高校、相模田名高校  
※上溝南高校の敷地、施設を活用  
再編・統合後の高校：全日制の課程 普通科

#### 中・県西地域における再編・統合(予定)

再編・統合対象校：秦野総合高校、秦野曽屋高校  
※秦野総合高校の敷地、施設を活用  
再編・統合後の高校：単位制による全日制の課程 総合学科

文教常任委員会資料より抜粋

9月30日に開かれた県議会常任委員会で、私は、県立高校の再編統合計画における県教育委員会の姿勢について、質疑しました。県民の声を聞かずに、地域にとって極めて重要な学校の統廃合を進めることは、決して許されません。学校は単なる建物ではなく、そこに通う生徒たちの未来であり、地域のアイデンティティそのものだからです。

私が問題にしたのは、県教委が具体的な再編対象校を明記した「3期計画」の一部改定を発表したにもかかわらず、この計画に対して県民の意見を募るパブリックコメントを実施しなかった点です。この手続きの不透明さは、県民の行政に対する信頼を著しく損なうものです。



### 全体計画で実施済みだからと

これに対し、県教委は「(上位計画である)全体計画の策定時にパブコメは実施している」という答弁を繰り返すばかりでした。しかし、具体的な学校名が書かれていない計画に、どれほどの県民が自分事として意見を寄せられるでしょうか。これは、県民の意見を聞くという本来の目的を忘れ、アリバイ的な態度と言わざるを得ません。

私は、担当局長が答弁した「関係者の思いを受け止める」という言葉が本物であるのかを質しました。しかし、返ってきたのは、「具体的な意見聴取の機会を積極的に設ける考えはない」という、大変残念な答弁でした。これでは、意見聴取が完全に形骸化してしまいます。県民の声を軽んじる姿勢に、私は強い憤りを感じています。

### 丁寧なプロセスが、信頼を生む

私は、「県教委の言う『思いを受け止める』とはその程度の話なのか」と、その姿勢を厳しく批判しました。そして最後に、今後のいかなる再編計画においても、具体的な対象校が明らかになった段階で必ずパブリックコメントを実施することを、強く要望しました。

学校は、生徒や保護者、そして地域に受け入れられて初めて成り立つものです。県民の皆さんの納得と信頼なくして、良い教育改革はあり得ません。行政の都合で一方向的に物事を進めるのではなく、県民の皆さんの声を丁寧に聞くこと。その当たり前のプロセスを実現させるため、私はこれからも議会

で全力で闘います。

**YOUTUBEでも動画で紹介しています⇒**

